

中国地域の経済動向

(2026年2月の指標を中心に)

～緩やかな持ち直しの動きがみられる～

2026年4月16日

(本発表資料のお問合せ先)
総務企画部企画調査課長 中野 伸二
電話：082-224-5633
メール：bzl-chugoku-chosa@meti.go.jp

～判断の推移～

	2026年3月（1月指標中心）	2026年4月（2月指標中心）
基調判断	持ち直しの動きの中で一部弱含んでいる	緩やかな持ち直しの動きがみられる
1. 生産動向	緩やかな持ち直しの動きがみられる	⇒
2. 個人消費	足踏み状態となっている	緩やかな持ち直しの動きがみられる
3. 雇用	有効求人倍率は前月と同じ、新規求人数は前年同月比で減少	⇒
4. 景況感	現状、先行きともに前月に比べ上昇	現状、先行きともに前月に比べ低下
5. 貿易	輸出、輸入ともに前年同月比で減少	輸出、輸入ともに前年同月比で増加
6. 建設動向	公共工事、住宅建設ともに前年同月比で増加	⇒
7. 企業倒産	件数、負債総額とも前年同月比で増加	件数は前年同月比で減少、負債総額は前年同月比で増加
8. 設備投資	2025年度計画は前年度を上回る見込み	2025年度実績は前年度を上回る見込み

1. 生産動向 ～緩やかな持ち直しの動きがみられる～

2026年2月の鉱工業生産指数（速報）は100.5、前月比 ▲0.6%の低下となった（2020年=100、季節調整済）。出荷は低下、在庫は低下、在庫率は上昇となった。

生産を業種別にみると、生産用機械工業、金属製品工業、自動車（乗用車・トラック・主要部品）などが上昇し、化学工業（除、医薬品）、食料品・たばこ工業、石油・石炭製品工業などが低下した。

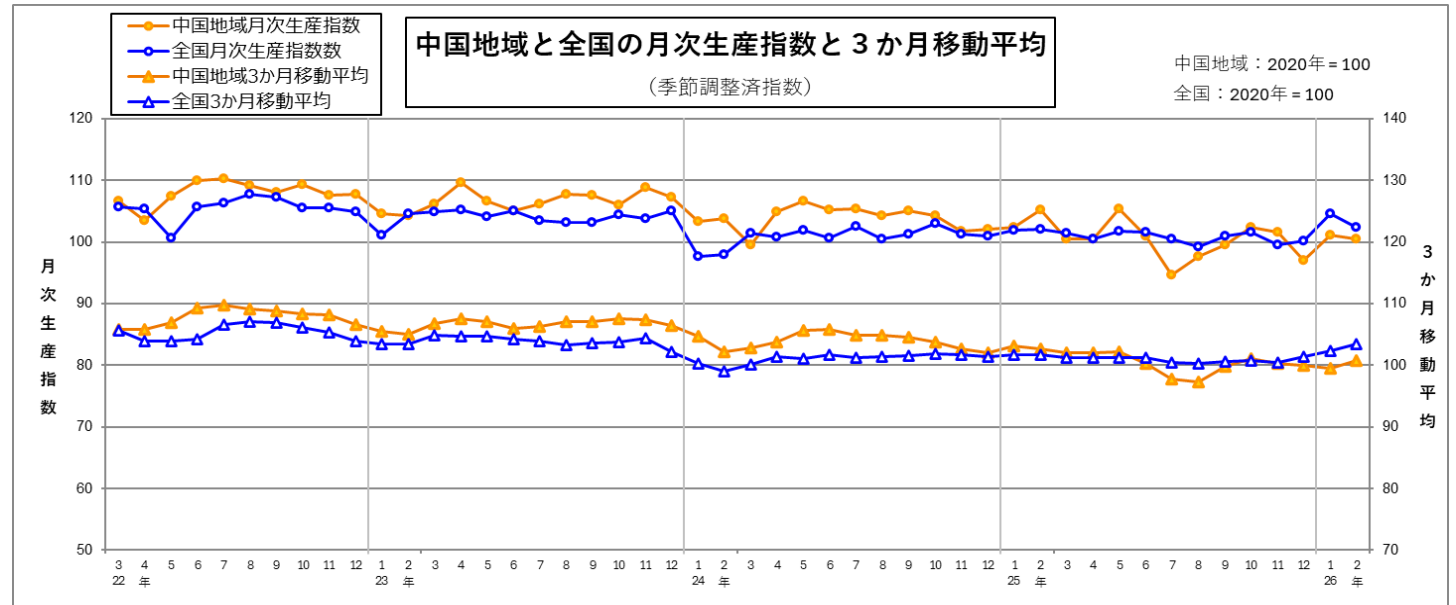
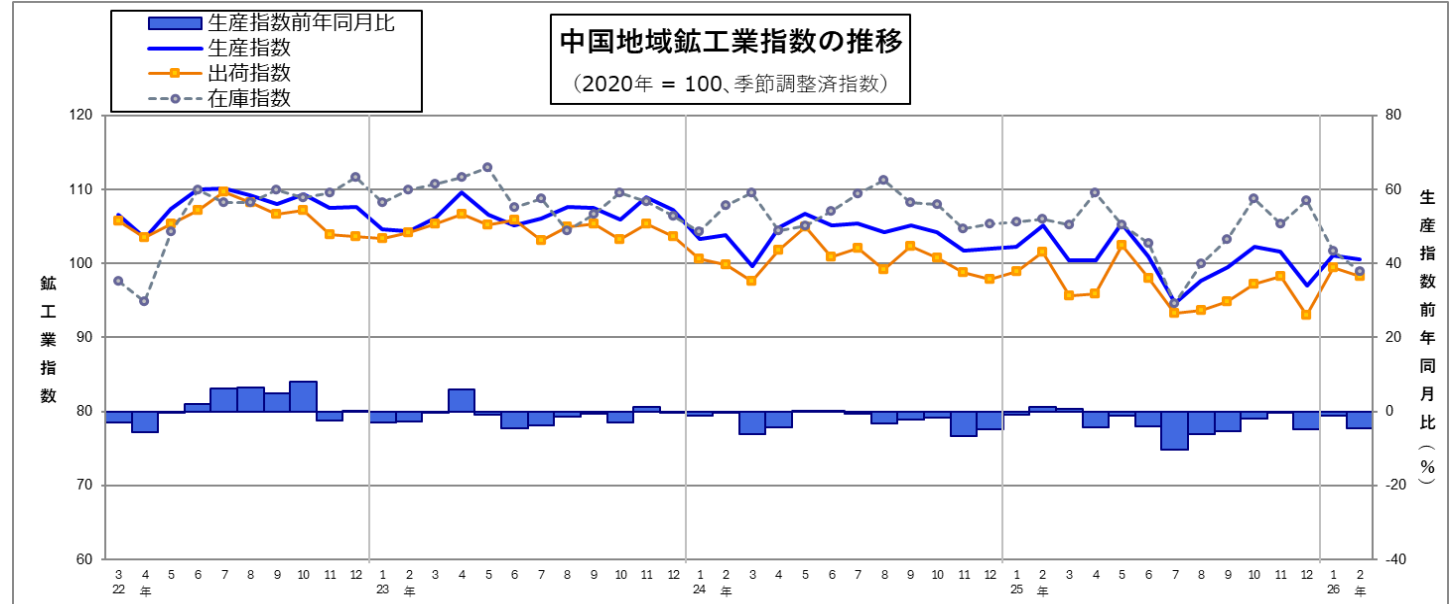
【主要業種の動向】

自動車（乗用車・トラック・主要部品）はモデルチェンジした一部車種の生産が本格化したことにより上昇傾向が継続。

汎用・業務用・生産用機械工業は需要の増加や出荷の集中などにより高い水準で推移。

化学工業（除、医薬品）は一部事業所の設備メンテナンスなどにより低い水準で推移。今後は中東情勢による原料調達への影響により先行き不透明。

詳細データはこちらから



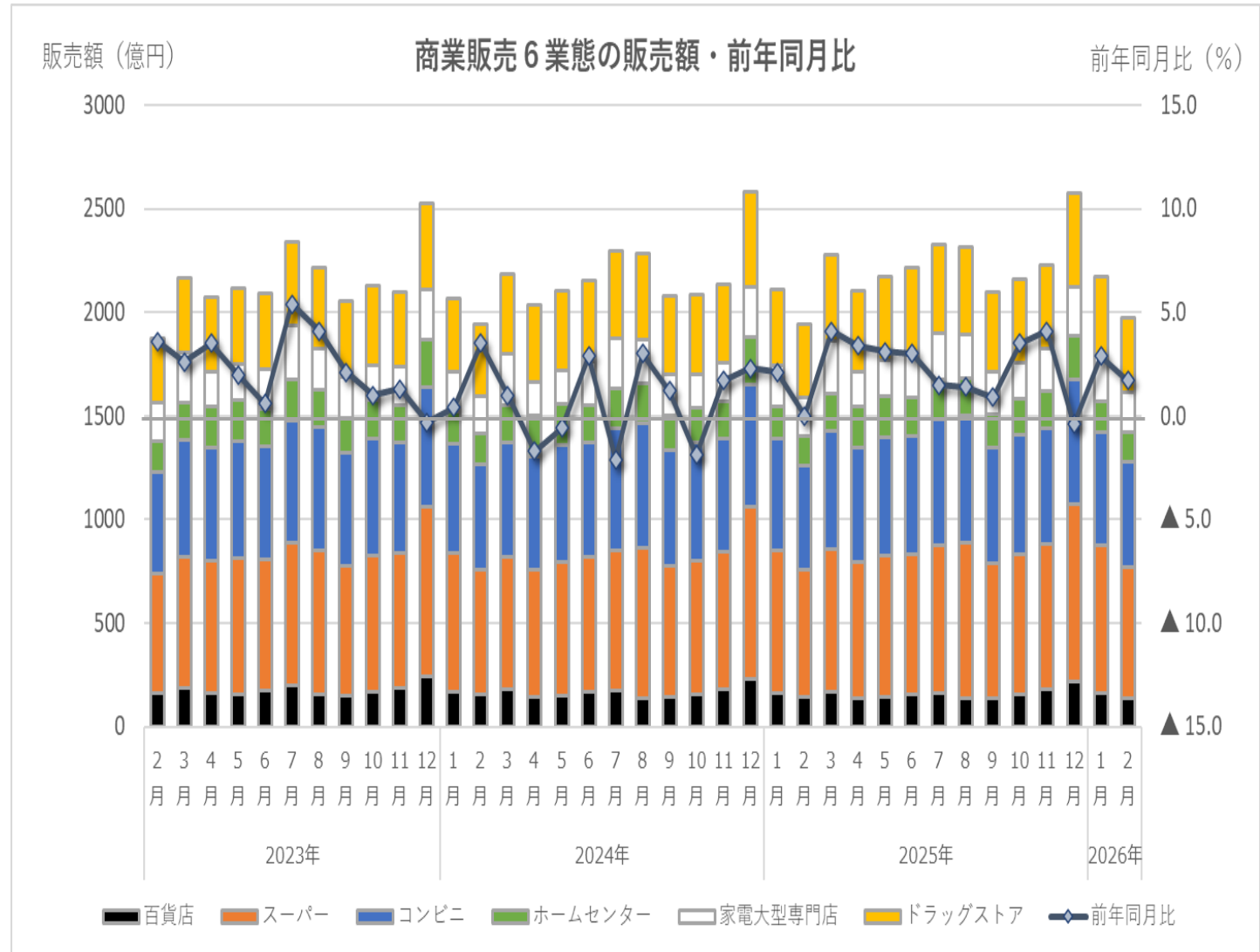
2. 個人消費 ～緩やかな持ち直しの動きがみられる～

2026年2月の商業6業態の販売額は1,974億円で、前年同月比1.7%と2か月連続で前年を上回った。

	(百万円)	(全店舗、%)			
	6業態における構成比	販売額	前年同月比		前月の前年同月比
6業態		197,421	1.7	2か月連続プラス	2.9
百貨店	7.1%	14,010	▲ 0.3	3か月連続マイナス	▲ 0.2
スーパー	31.9%	62,882	2.4	16か月連続プラス	4.1
コンビニエンスストア	25.9%	51,040	1.5	5か月連続プラス	1.3
ホームセンター	7.2%	14,284	▲ 2.7	7か月連続マイナス	▲ 4.0
家電大型専門店	9.6%	18,884	1.0	2か月連続プラス	8.4
ドラッグストア	18.4%	36,320	3.9	2か月連続プラス	4.2

	店舗数	前年同月比
百貨店	12	0.0 %
スーパー	340	1.2 %
コンビニエンスストア	3,062	0.1 %
ホームセンター	401	0.3 %
家電大型専門店	177	0.6 %
ドラッグストア	1,069	1.7 %

その他のデータはこちらから



2. 個人消費

(1)百貨店の状況

雪の影響で客数や売上が減少した。衣料品は後半から春物に好調な動きがみられたものの、月を通してみると低調だった。一方、飲食料品はバレンタインなどの催事が好調だった。また、ラグジュアリーの手荷物や宝飾品が好調だった。

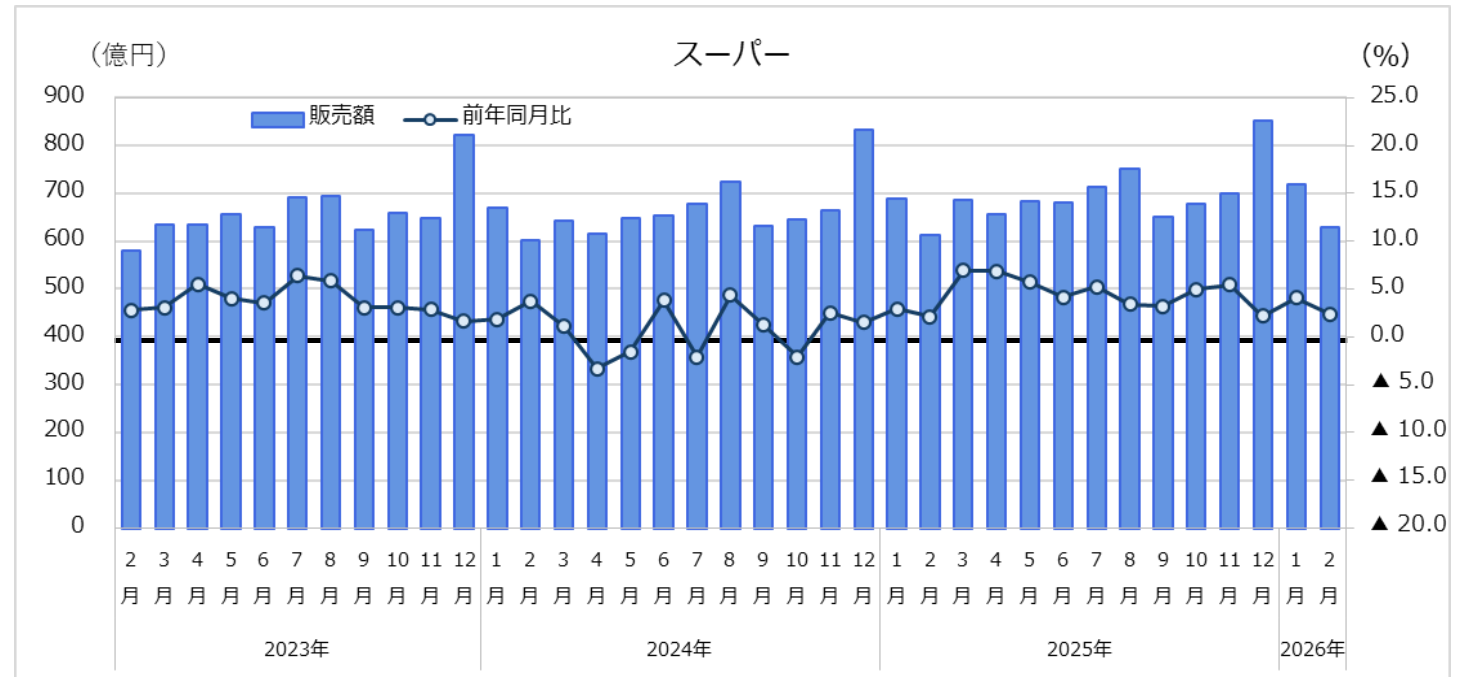
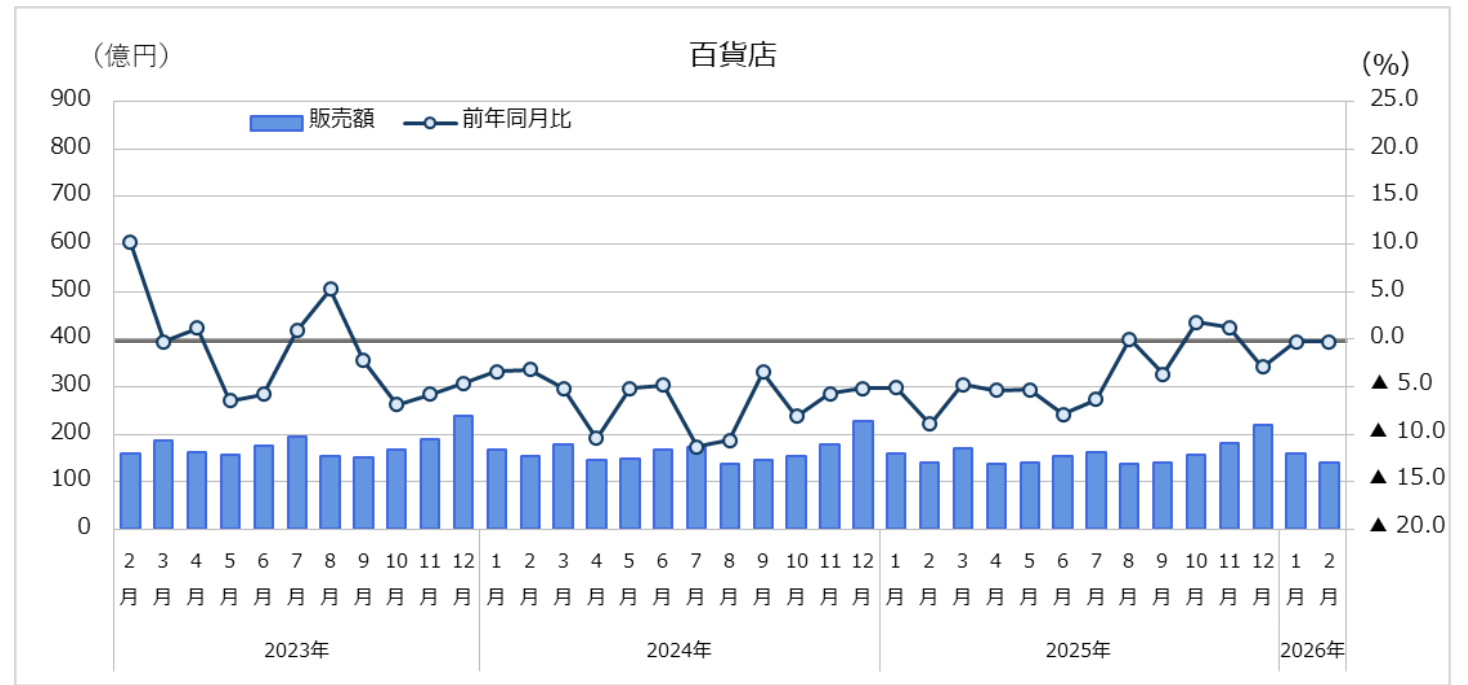
(2)スーパーの状況

節分の恵方巻きが好調だったほか、切り落としや輸入の精肉が好調だった。また、価格上昇により卵の売上が増加した。そのほか、需要の高まりによりシールが好調だった。一方、中旬以降の気温上昇、相場が下がった影響により、鍋材料や葉物野菜の売上が減少した。

詳細データはこちらから



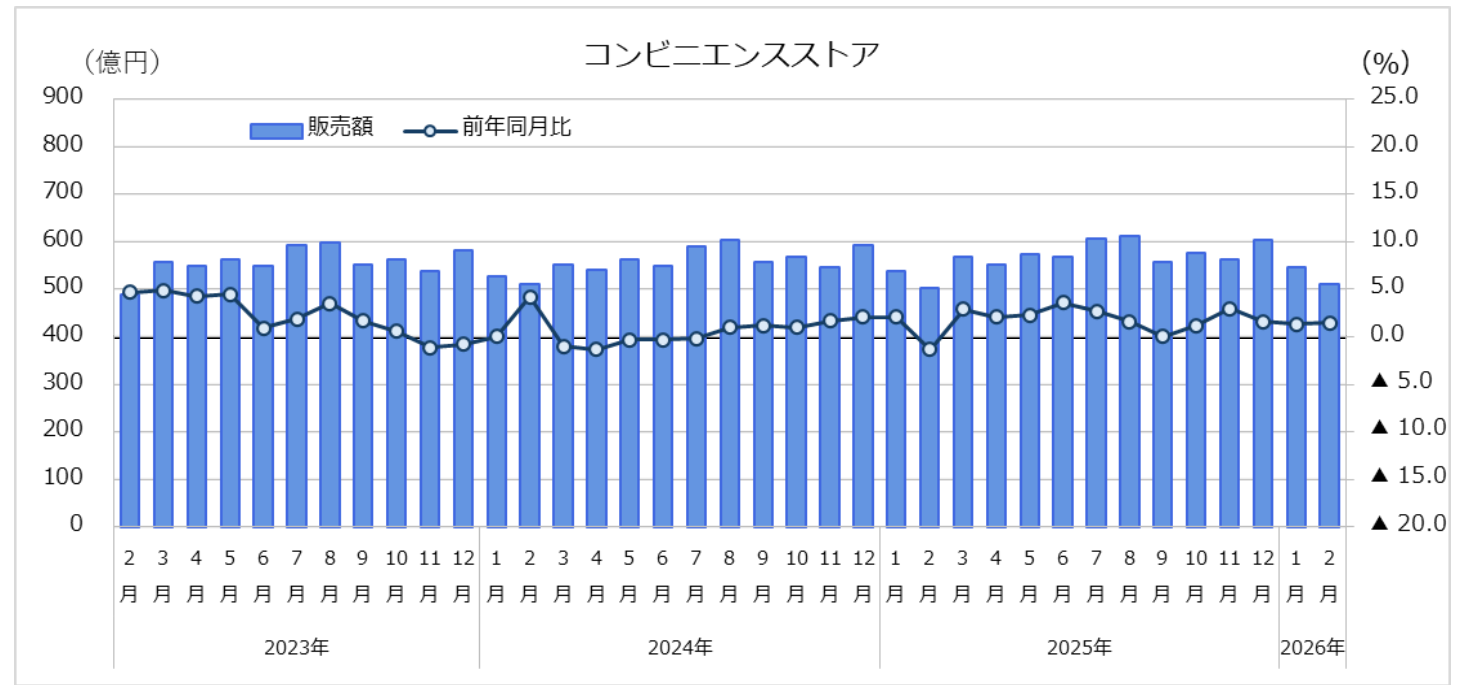
(資料) 「商業動態統計調査」(経済産業省)
「中国地域百貨店・スーパー販売動向」(中国経済産業局)



2. 個人消費

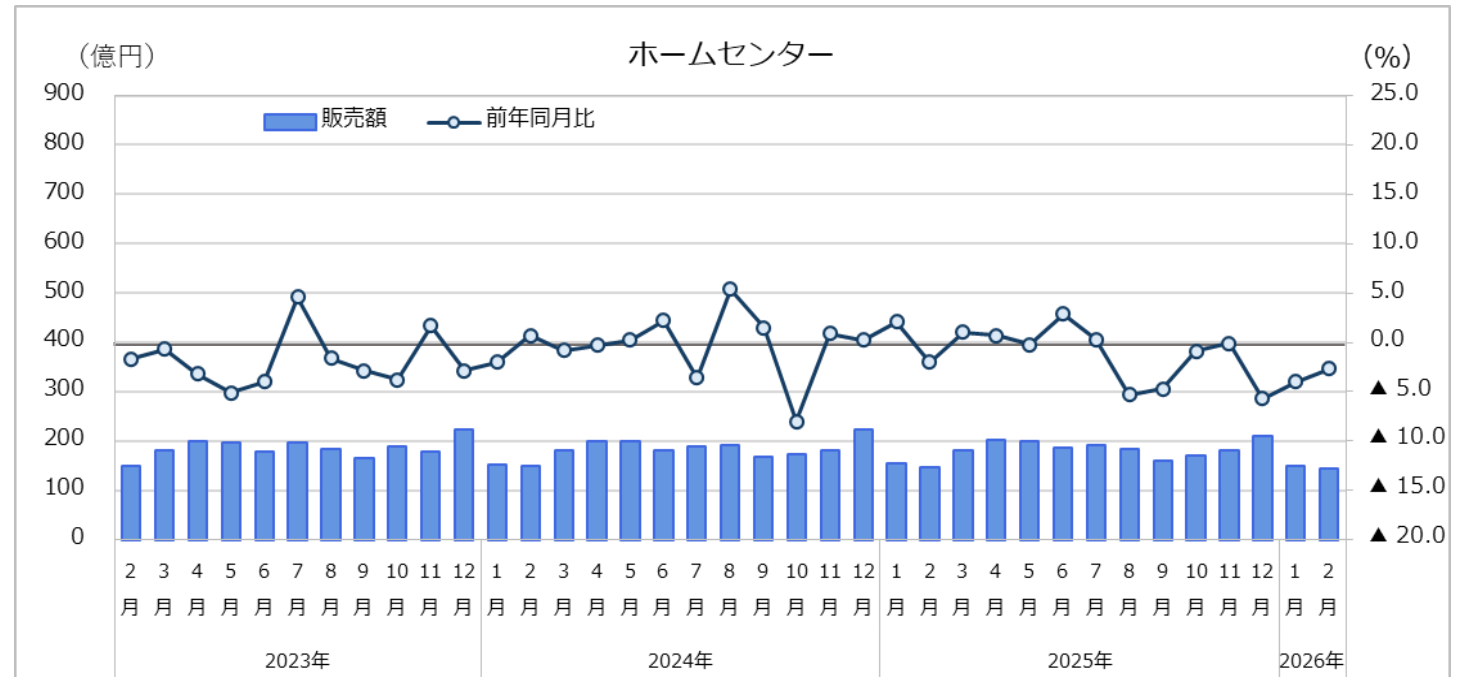
(3) コンビニエンスストアの状況

販売促進効果でパンやチルド飲料が好調だった。また、中旬以降の気温上昇によりアイスが好調だった一方、カップ麺が低調だった。そのほか、物価高による節約志向の高まりでデザートが振るわなかった。



(4) ホームセンターの状況

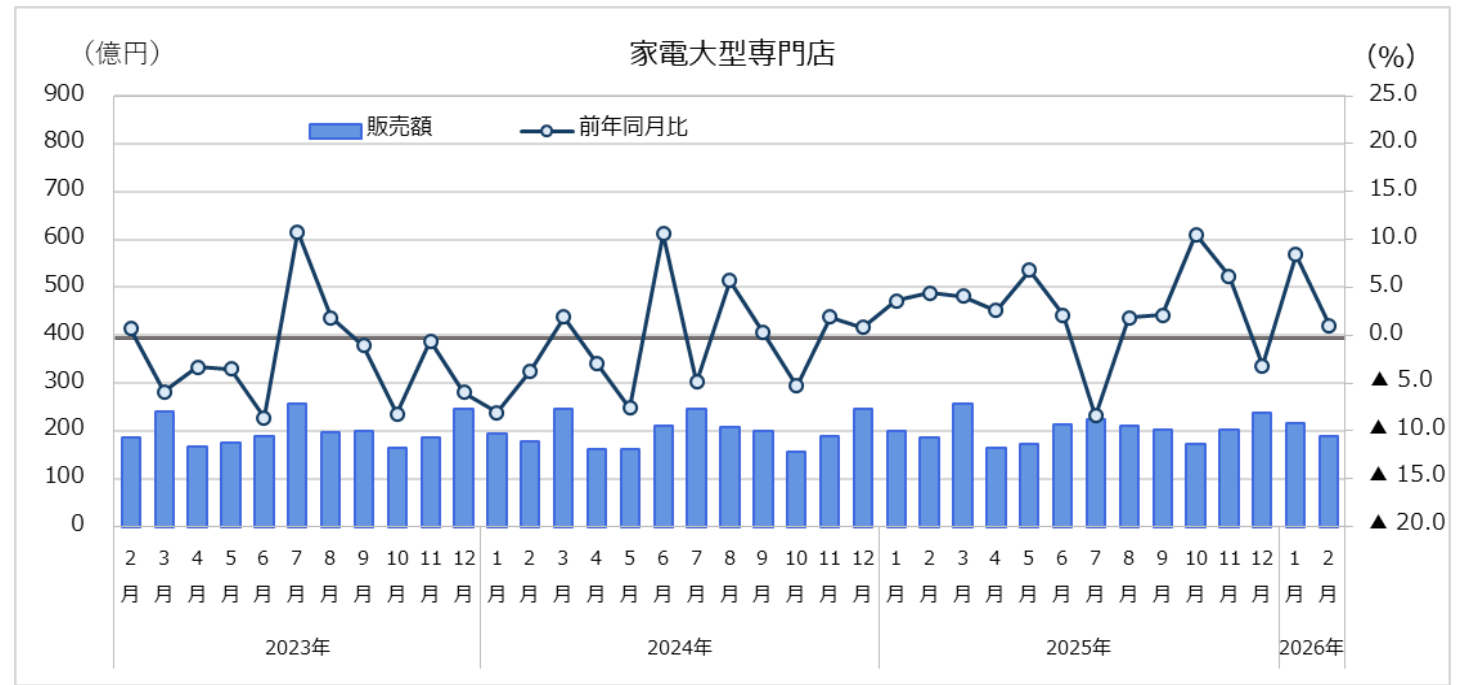
前年の反動で米が低調だった。また、中旬以降の気温上昇により灯油や暖房用品、寝具が振るわなかった。一方、苗物や肥料などの園芸用品が好調だったほか、塗料や工具などのDIY用品により動きがみられた。



2. 個人消費

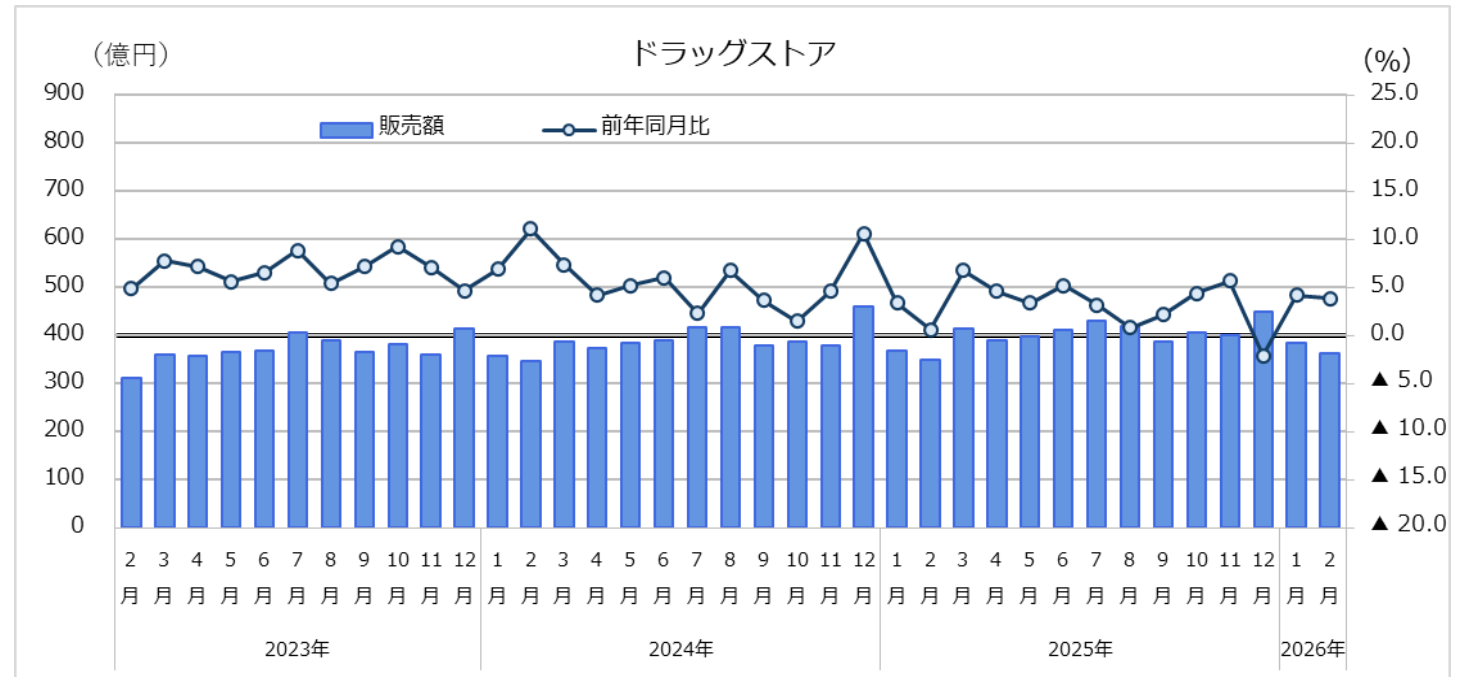
(5)家電大型専門店の状況

上旬の気温低下によりエアコンが好調だったほか、販売促進効果で携帯電話により動きがみられた。一方、需要が落ち着いたパソコンの売上が減少したほか、冷蔵庫や洗濯機の動きが鈍かった。



(6)ドラッグストアの状況

販売促進効果で菓子、飲料が好調だったほか、花粉症対策の点鼻薬、目薬により動きがみられた。また、価格上昇により衣料用洗剤の売上が増加した。一方、中旬以降の気温上昇によりカイロやマスクが低調だった。

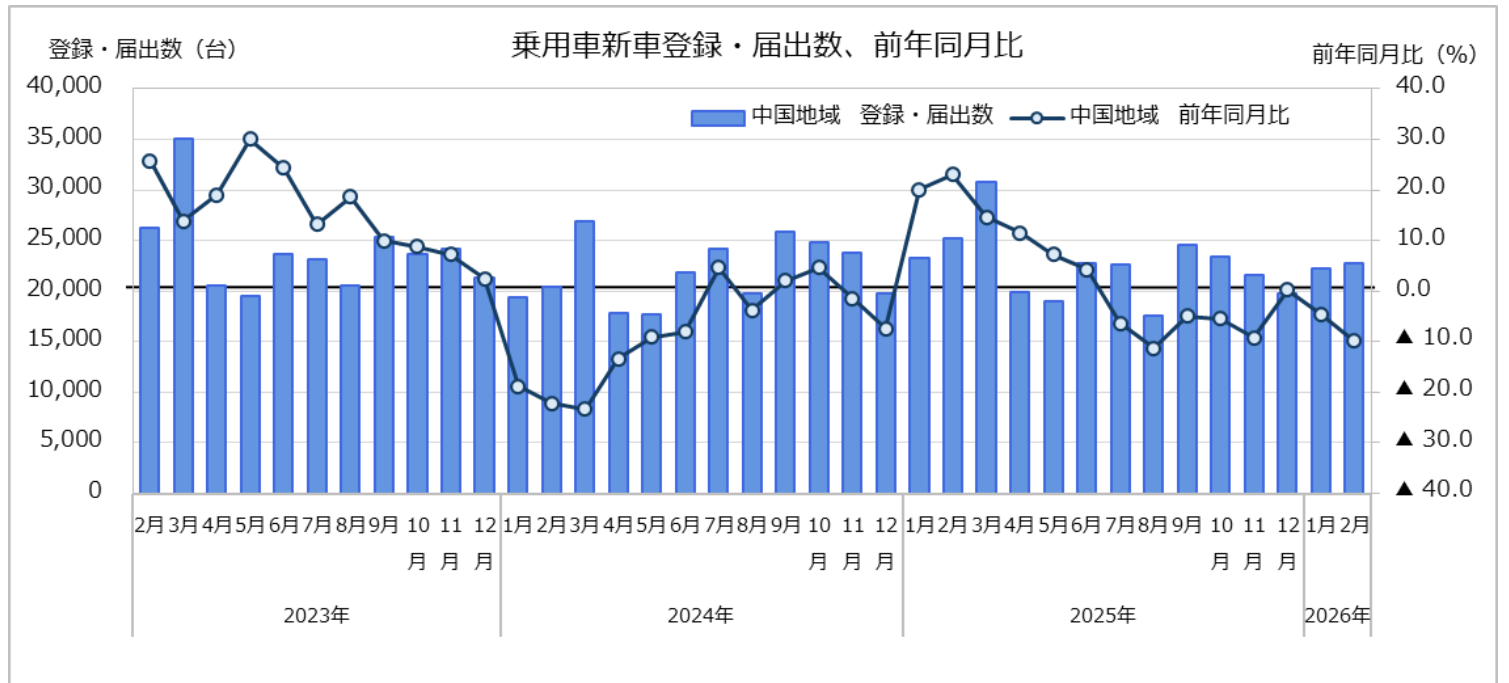


(資料) 「商業動態統計調査」 (経済産業省)

2. 個人消費

●乗用車新車登録・届出数

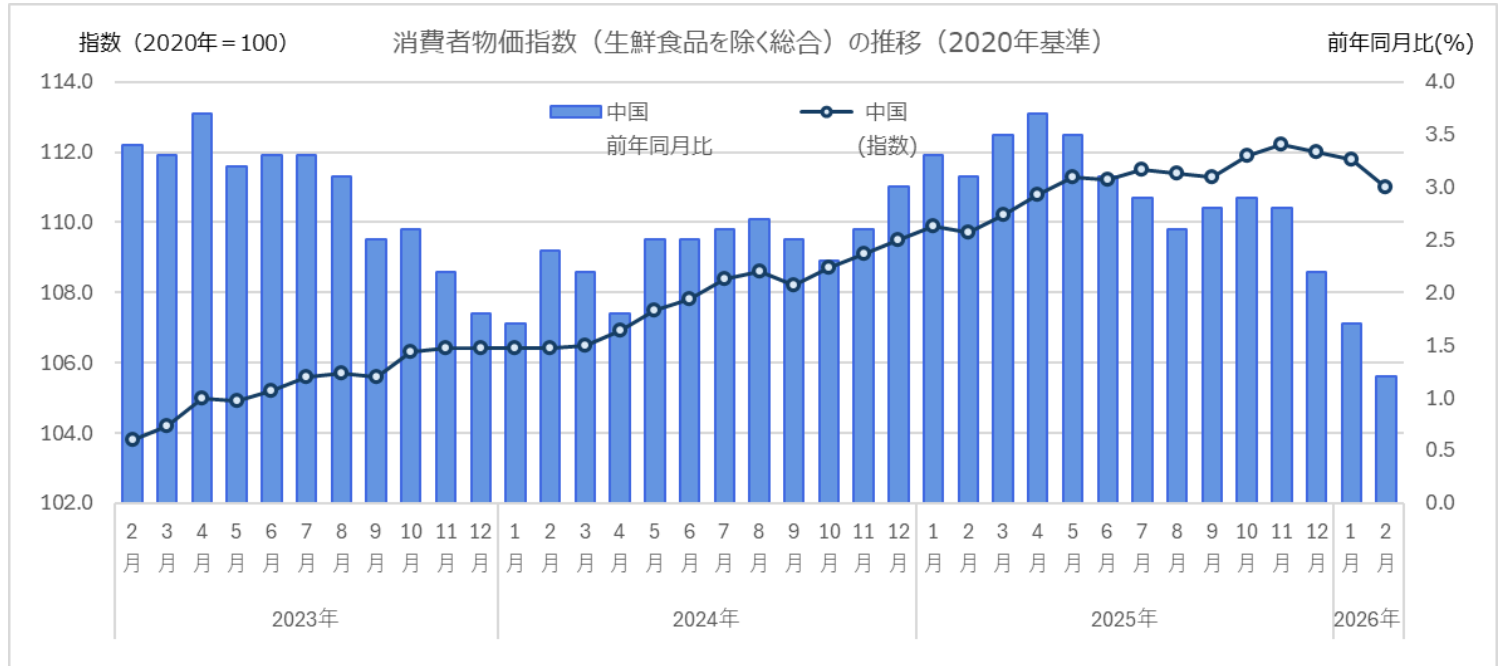
2026年2月の乗用車新車登録・届出数は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車全てが前年同月を下回り、合計で前年同月比▲9.8%と2か月連続で前年を下回った。



(資料) 中国運輸局資料をもとに中国経済産業局作成

●消費者物価指数 (中国地域)

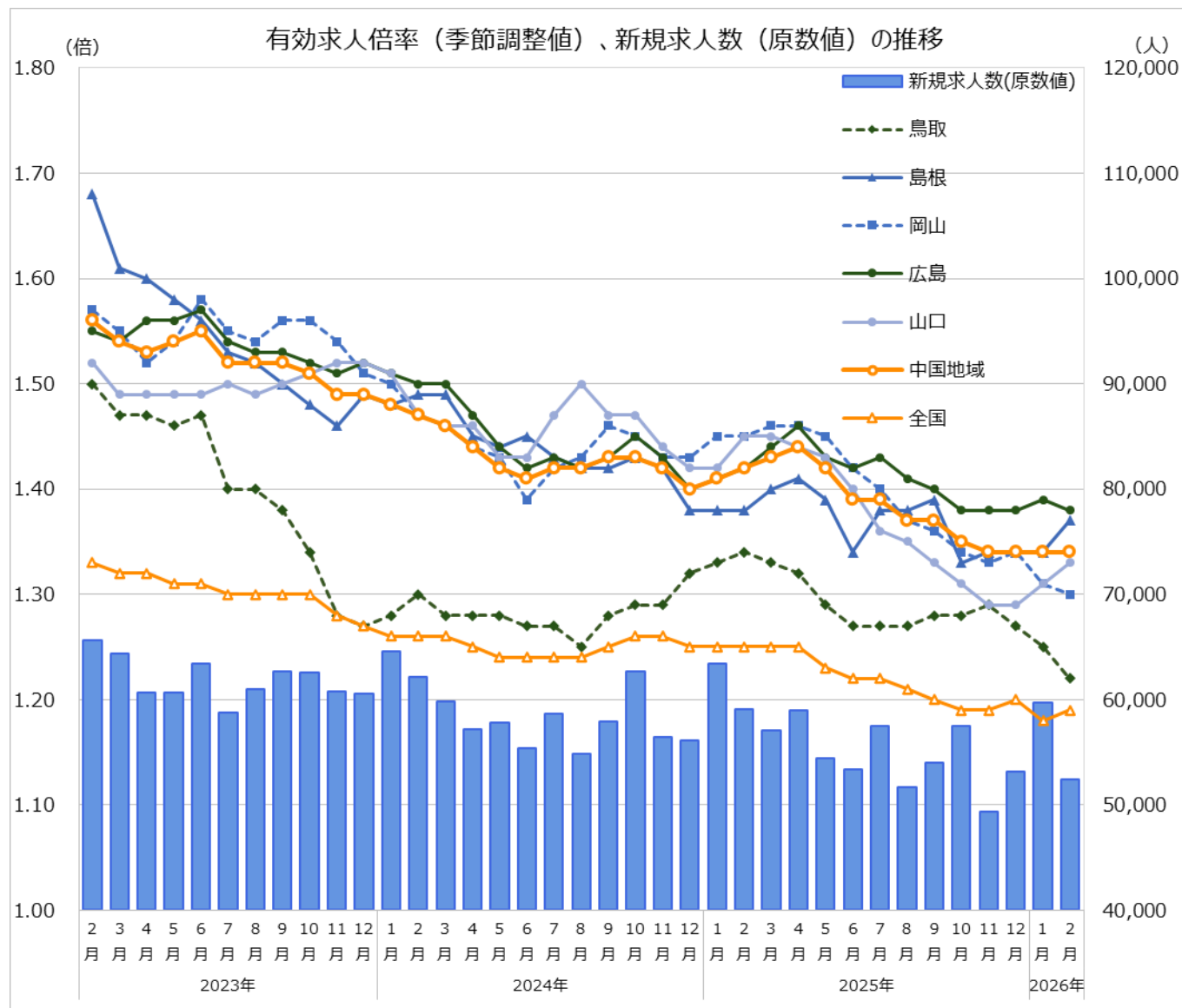
2026年2月の消費者物価指数 (生鮮食品を除く総合指数) は前年同月比1.2%の上昇となった。



(資料) 「消費者物価指数」 (総務省)

3. 雇用 ～有効求人倍率は前月と同じ、新規求人数は前年同月比で減少～

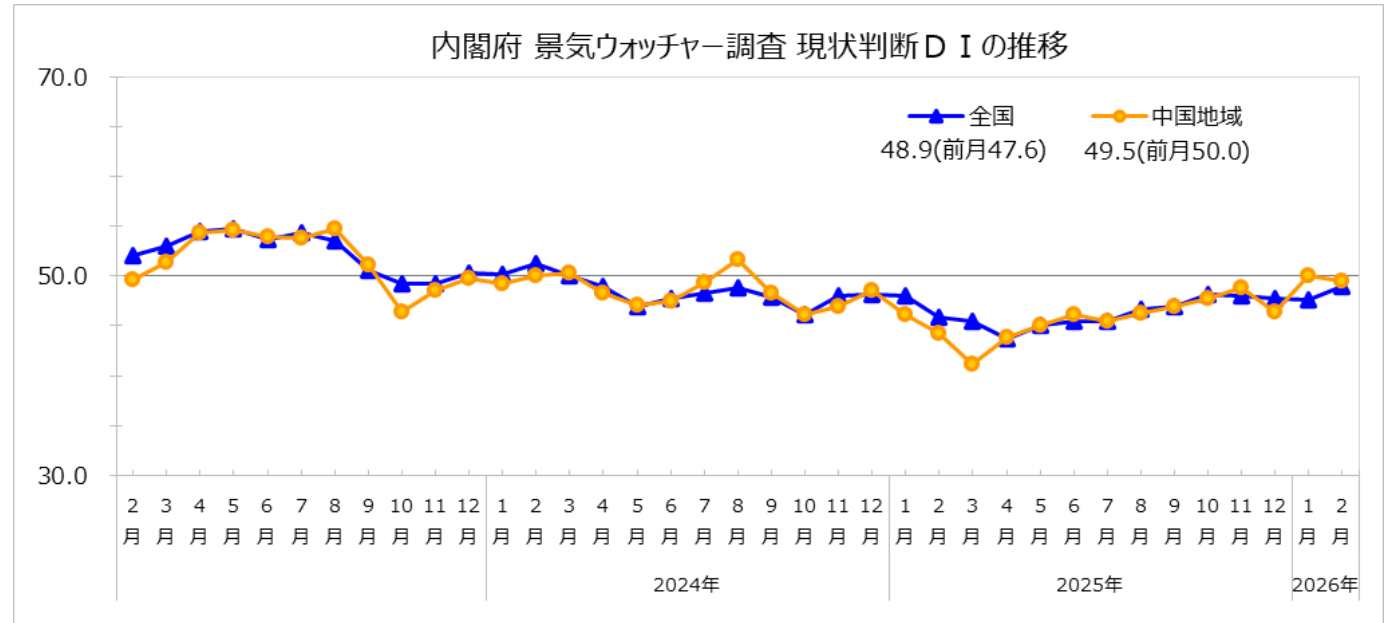
2026年2月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.34倍で前月の値と同じとなった。
 また、新規求人数（原数値）は、前年同月比▲11.3%で10か月連続の減少となった。



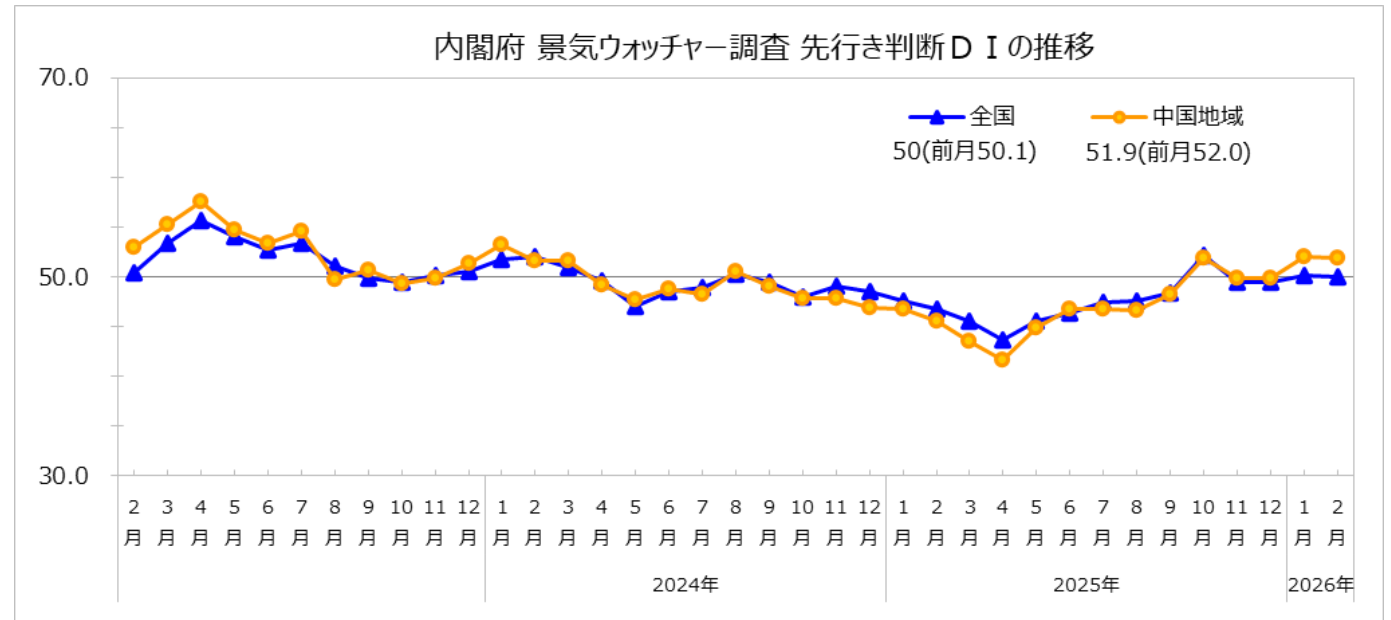
(資料) 「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」(厚生労働省)

4. 景況感 ～現状、先行きともに前月に比べ低下～

内閣府の景気ウォッチャー調査（令和8年2月調査結果）によると、中国地域の3か月前と比較しての景気の現状に対する判断D I（方向性）は49.5となり、前月差0.5ポイントの低下となった。

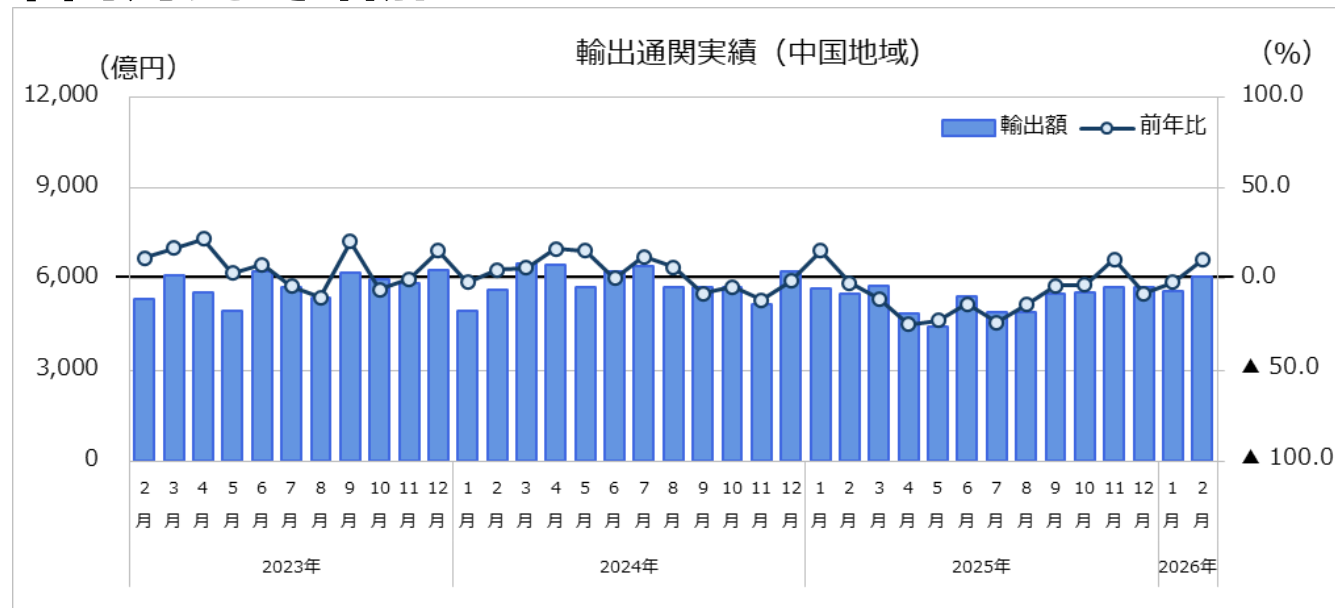


2～3か月先の景気の先行きに対する判断D Iは51.9となり、同0.1ポイントの低下となった。

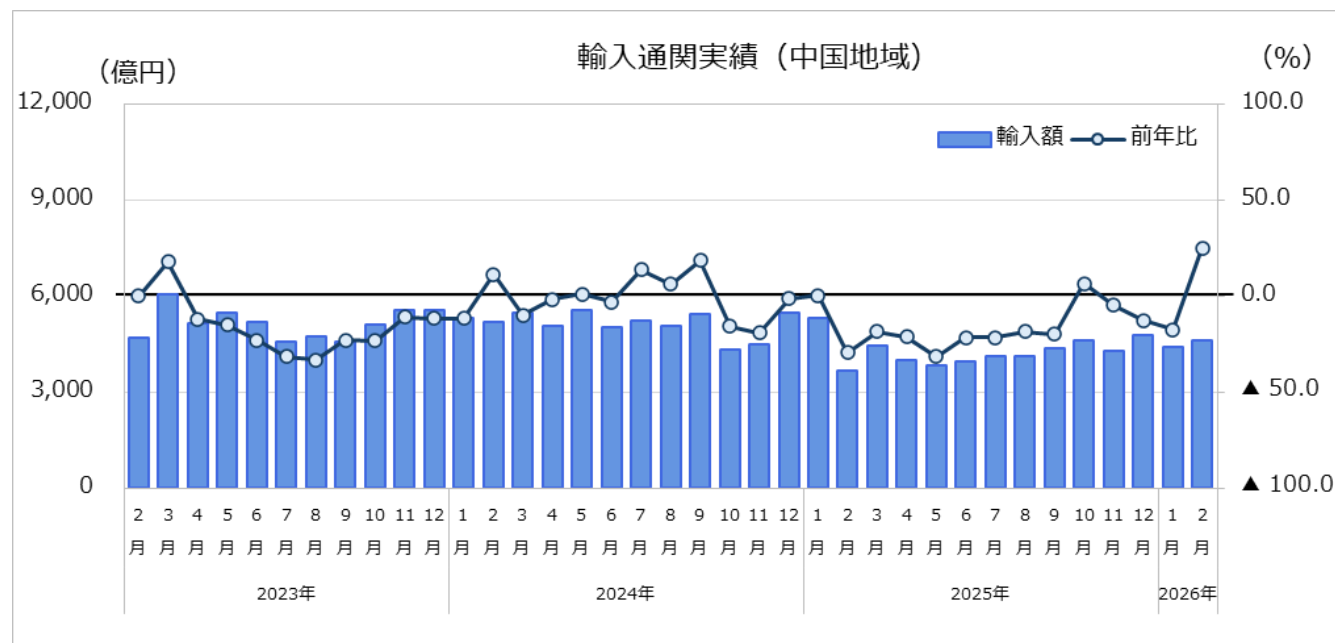


5. 貿易 ～輸出、輸入ともに前年同月比で増加～

2026年2月の輸出は、前年同月比10.4%と3か月ぶりに前年を上回った。品目別では、船舶、自動車などが前年を上回った。地域別では、北米、アフリカ向けなどが前年を上回った。



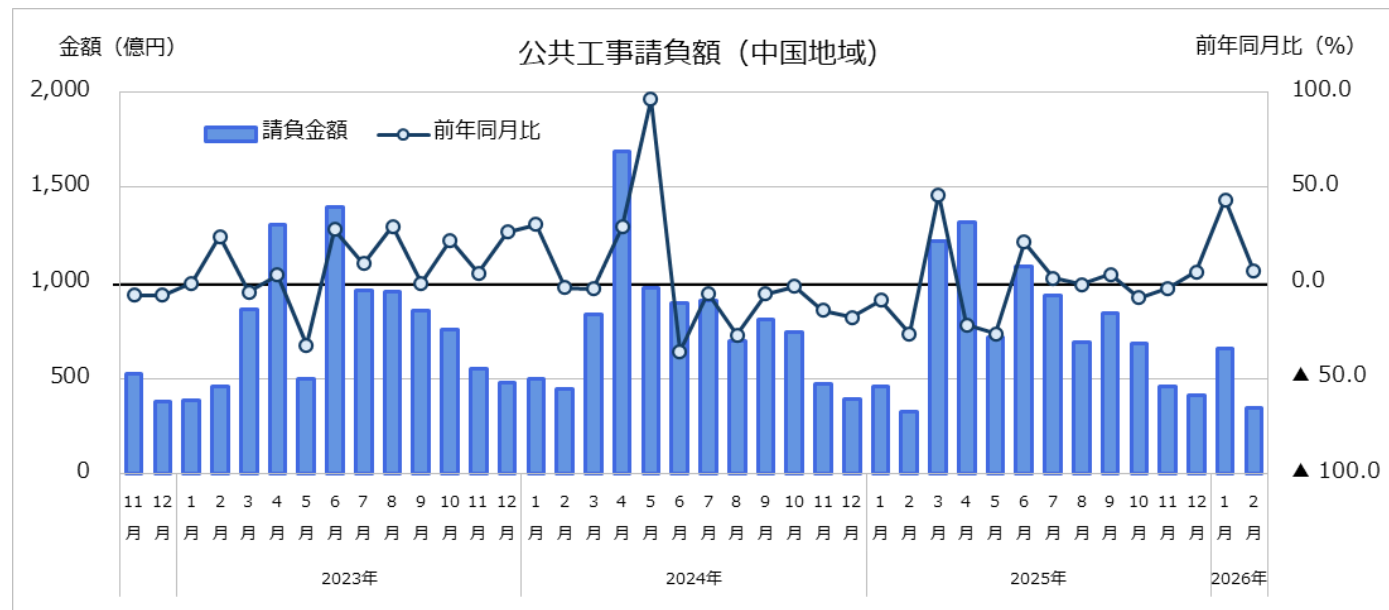
2026年2月の輸入は、前年同月比25.2%と4か月ぶりに前年を上回った。品目別では、金属鉱及びびくず、天然ガス及び製造ガスなどが前年を上回った。



6. 建設動向 ～公共工事、住宅建設ともに前年同月比で増加～

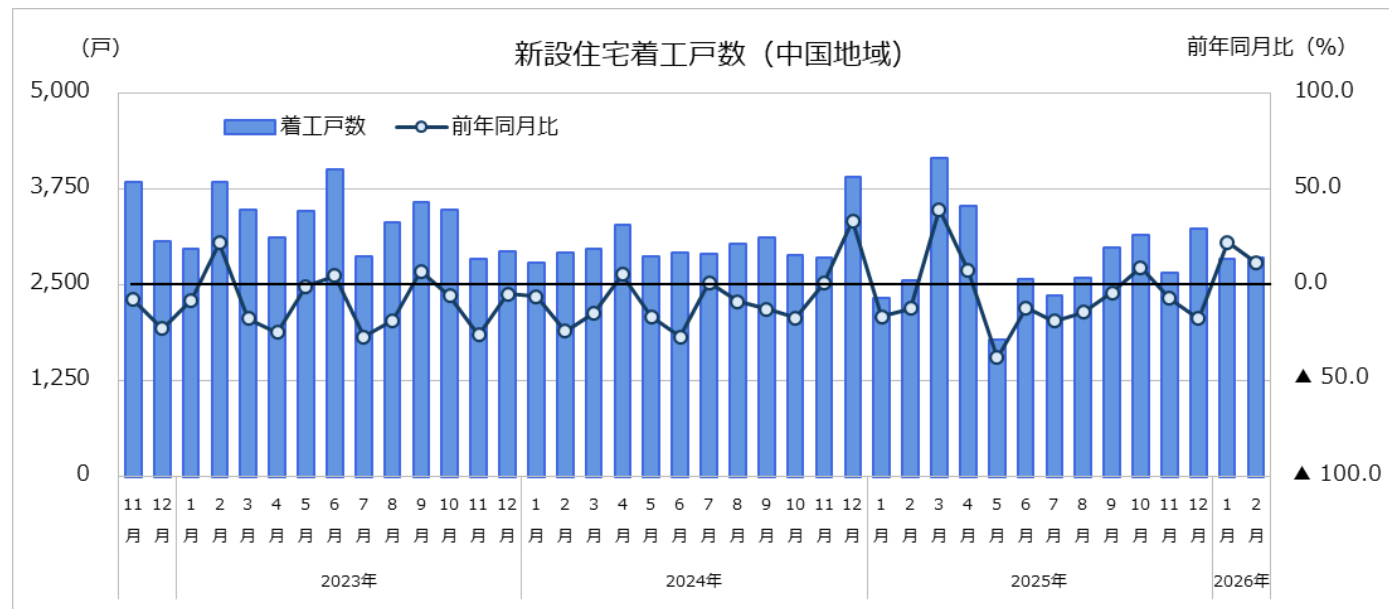
2026年2月の中国地域の公共工事請負金額は、県で前年を下回ったものの、国、独立行政法人等、市町村、その他公共的団体で前年を上回った。合計では前年同月比6.1%と3か月連続で前年を上回った。

(資料) 西日本建設業保証(株)広島支店



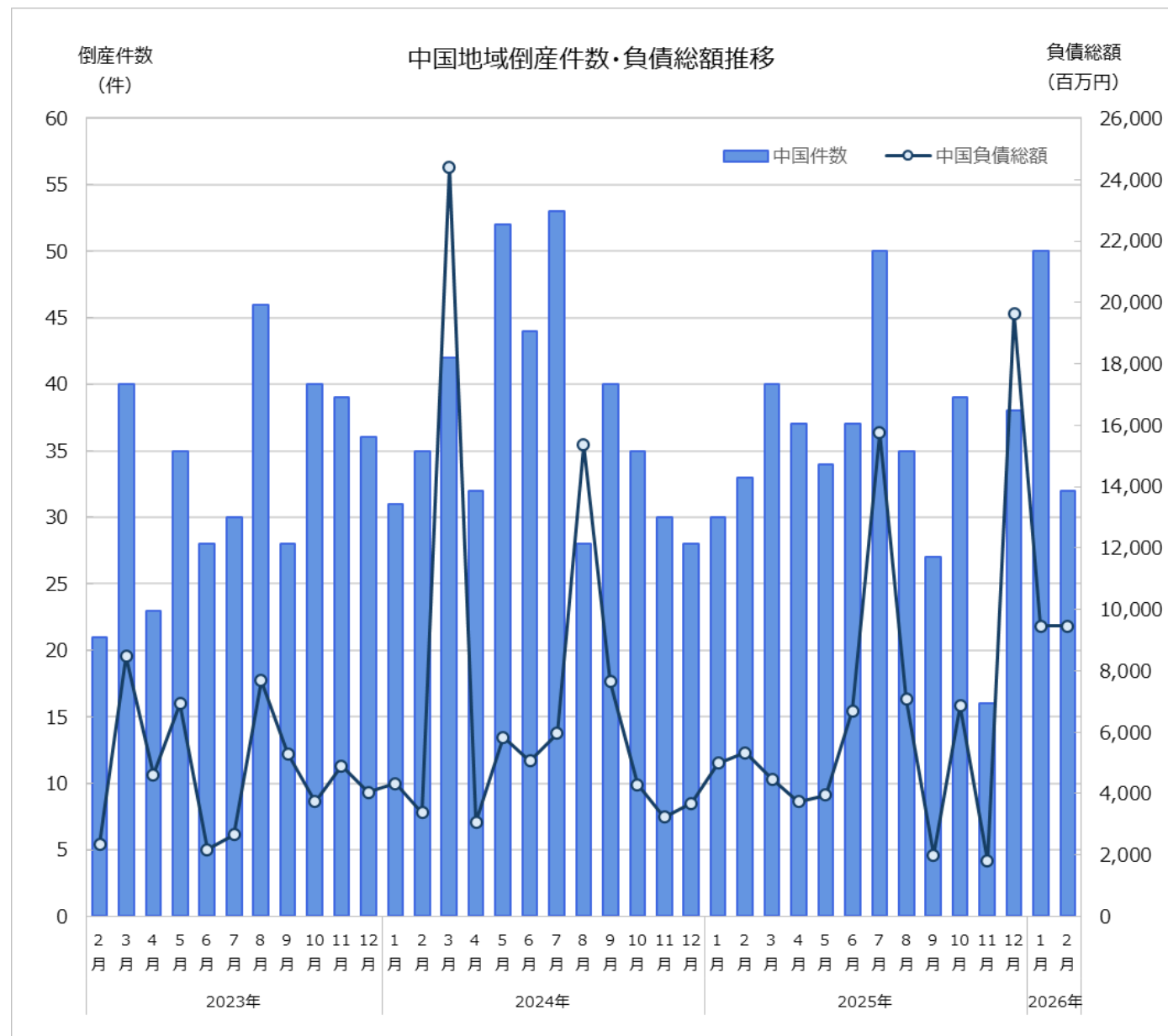
2026年2月の新設住宅着工戸数は、貸家で前年を下回ったものの、持家、給与住宅、分譲住宅で前年を上回った。合計では前年同月比11.6%と2か月連続で前年を上回った。

(資料) 「建築着工統計調査報告」 (国土交通省)



7. 企業倒産 ～件数は前年同月比で減少、負債総額は前年同月比で増加～

2026年2月の企業倒産件数は32件で、前年同月比▲3.03%と3か月ぶりに前年を下回った。
 また、負債総額は94億5,500万円で、前年同月比77.32%と3か月連続で前年を上回った。
 業種別にみると、サービス業他が10件、建設業が7件、製造業が5件などとなった。
 原因別にみると、販売不振が26件、既往のシワ寄せが3件、その他が2件などとなった。



8. 設備投資 ～2025年度実績は前年度を上回る見込み～

日本銀行広島支店の企業短期経済観測調査結果(2026年3月)によると、2025年度の設備投資実績見込み(含む土地投資額)は、製造業が前年度比21.1%、非製造業が同▲6.7%となり、全産業では同6.7%となっている。

(注) 横軸に初回調査(3月調査)から実績が確定する翌年6月調査までの6調査回を取り、毎年度の設備投資計画について、調査回毎の前年比の足取り(修正パターン)をグラフで示したものを。

